

アジア地域研究専攻

Asian Area Studies

埼玉東松山キャンパス

アジア諸地域の課題について考察・発信し アジアに貢献できる人材を育成

博士課程前期課程では、世界情勢に関する総合的な洞察力を修得し、アジア諸地域の歴史的経験をふまえて政治、経済、社会、文化などに関する今日的な課題について考察していきます。そのために「アジア地域研究」「地域研究特殊講義」といった科目を準備しています。また、フィールドワークの方法を実践的に修得する「地域調査方法論」、グローバル化と多文化共生の時代に対応して、日本に学ぶ留学生が日本語による論文執筆と運用能力の向上を目指す科目、世界に研究成果を発信することを目標とする院生が英語による論文執筆と運用能力の向上をめざす科目も設置しています。さらに、大学院で学んだ専門知識を活かした職業教育も提供しています。

博士課程後期課程では、博士課程前期課程で修得したフィールドワークの実践的な方法論や、外国語の高度な運用力を活かしながら、アジア諸地域に根差し、地域の人々と共に歩み、世界に発信し、貢献することを目標とします。長い時間をかけてアジア地域が育んできた固有の伝統の価値を理解し、尊重する姿勢と、新しい時代の変化を読み取り、適切に対応する柔軟性を養うために、具体的な諸問題についてより深く追究していきます。そのために、学内で行われる学術交流会や国際会議での報告のほかに、随時、学外での成果発表や論文執筆が奨励され、国内外で評価される高度な水準の学術論文の完成を目指します。

学位取得論文

- 台湾の権威主義に挑戦した市民運動について 一鹿港鎮反デュボン運動を中心にー
- 中国の伝統的な箸文化の伝承と促進に関する研究
- 現代における影絵劇の新たな可能性 一皮影戯を対象としてー
- 台湾半導体産業の発展と課題 一TSMC の視点から
- ジェニン難民キャンプフリーダムシアターにおけるジュリアーノ・メール・ハメルの実践
- 福建・東北三省の新華僑二世のアイデンティティに関する研究
- 戸田市のICT教育事例に基づくフィリピンでのICT教育改善の検討 一急成長するICT産業への人材育成を目指して
- 中国20代女性の海外旅行先の選好と意向に関する研究 一旅行におけるニーズと精神的な追求を中心に
- 中国の大学生の進路選択における親の「意見」の影響 一河北省の大学生を事例に

Student Voice

社会人2年目で進学を決意、丁寧な指導のおかげで不安も解消



アジア地域研究専攻
博士課程前期課程2年

リュウ ソウナンさん

駿河台大学 現代文化学部現代文化学科卒

大学院への進学を考え始めたのは、社会人2年目のときです。世界や社会が激しく変化する中で、その動きが今後どのように変わり、自分の生活にどう影響を与えるのかを考えるようになったのがきっかけでした。大東文化大学を選んだ理由は、長い歴史があり、優れた教授陣がそろっているから。中国に関する資料が豊富であり、私の研究テーマと非常に合致していたことも要因の一つでした。最初は自分の知識が大学院の水準に対応できるのか心配しましたが、前期課程1年次に幅広い分野の講義を受けることができ、先生方の丁寧な指導によって基礎をしっかりと固められたことで次第に不安は解消されました。現在の研究テーマは、「日中の『対立』における『収束期』の研究 1972年～2012年」です。大学院での研究を通して、物事の見方が大きく変わり、政策や決定の表面的な部分だけでなく、その背景にある理由や他の要素との関連性まで考えられるようになりました。今後も、物事を深く分析する力と、継続して努力する力をキャリアや生活に活かしていきたいと考えています。

博士課程 前期課程

博士課程 後期課程

学びの特長

アジア諸地域の歴史的経験をふまえ、政治、経済、社会、文化などに関する今日的な課題に関する深い洞察力をもち、アジアを舞台に国際的に活躍できる人材を育成します。

「Webサイト」
アジア地域研究科
アジア地域研究専攻

https://www.daito.ac.jp/education/
graduate_school/department/
asian_area_studies/outline.html

アジア地域研究専攻 専任教員

博前 博士課程 前期課程の研究指導

博後 博士課程 後期課程の研究指導

※2027年度における研究指導の可否については、「2027年度大学院入学試験要項」を確認してください。

井上 貴子

博士(学術)／教授

南アジア地域研究(インド文化・芸能史)

南アジアの音楽芸能を、人々の生活や社会との関係を踏まえて、主に歴史的な側面から研究しています。

遠藤 元

博士(理学)／教授

東南アジア経済論・企業研究(タイ)

東南アジア(タイ) 経済がグローバル化の中でどう変容しつつあるかを、産業や企業に注目して研究しています。

岡本 信広

博士(経済学)／教授

中国経済、地域経済学、産業連関分析

中国経済を研究しています。中国の地域経済、都市化を計量的に分析することを主な研究テーマにしています。

小高 泰

修士(国際学)／教授

国際関係論・東南アジア地域研究(ベトナム)

ドイモイ(刷新)路線実施後のベトナム政治の変化を、主に国防政策から研究しています。中越関係にも注視しています。

ギャレン・ムロイ

Ph.D(政治学)／教授

政治学、国際関係、平和安全保障論

I research Japan's politics and history of defence, security, strategy, peace, conflict and diplomacy.

高野 太輔

博士(文学)／教授

西アジア史

西暦7世紀以降の西アジア史について、アラビア語の史料を解読しながら研究しています。

須田 敏彦

博士(農学)／教授

農業経済学、南アジア農村経済論、日本農業論

農業や食料、環境を軸に、インドやバングラデシュなど南アジアの経済について研究しています。

滝口 明子

博士(アジア地域研究)／教授

文化史

日本、アジア、ヨーロッパの文化交流史。茶と酒、本と読書、旅と会話など人間の生活史、思想史を比較研究しています。

新里 孝一

修士(法学)／教授

政治学(政治文化論・政治教育論)

日本人の政治観や政治的認識(評価・批判)の特質について考察しています。

松本 弘

PhD／教授

中東地域研究

中東諸国の民主化やイスラーム主義に関わる近現代史や政治社会状況を研究し、問題の本質や背景に迫ります。

兪 敏浩

博士(法学)／教授

現代中国論、東アジア国防関係論

中国外交、日中関係を軸に、戦後東アジア国際政治史を研究しています。

A.R.ウルック

Ph.D／准教授

Visual Culture and Contemporary Japanese Society

My primary research focuses on the functions of artefacts, realia, film, and art, beyond their immediate purpose and place in society. A sub-strand of my research pertains to visual culture from a Japanese perspective and also on contemporary Japanese society in a broader context.

飯國 有佳子

博士(文学)／准教授

文化人類学、東南アジア地域研究(ミャンマー)

近代化やグローバル化に伴うミャンマーの社会的変容を、宗教をとおして研究しています。

小尾 淳

博士(アジア地域研究)／准教授

インドの芸能と社会、宗教学

南インドを中心に芸能と社会の関係性や宗教文化について研究しています。

金 美珍

博士(社会学)／准教授

韓国の社会政策、韓国市民社会

近年急速に変動している韓国社会、とりわけ、こうした変動による人々の行動や生活、文化、政治の変化を研究しています。

鈴木 真弥

博士(社会学)／教授

南アジア地域研究(インド)

1990年代以降、南アジアは急激な経済発展と社会・文化変容を遂げています。グローバル／ローカルな視点から、主にインドのカースト、不可触民問題や社会運動について調査研究を進めています。

廣江 倫子

博士(法学)／准教授

香港法

香港法を研究しています。具体的には、返還後香港の「憲法」である香港基本法、および香港国家安全維持法を、研究しています。

吉村 武典

博士(文学)／准教授

史学、中世・近世アラブ・イスラム史

マムルーク朝時代を中心に近代以前のエジプト、シリアにおける政治制度、社会とその変化について研究しています。

浦山 あゆみ

博士(文学)／教授

中国語史・漢語音韻

漢字の注釈を中心に、韻書・字書の継承について研究しています。

倉島 孝行

博士(農学)／准教授

自然資源管理、東南アジア地域研究

森林の保全・再生に関する政策動向と実態などについて、主に東南アジア地域を対象に研究しています。

ミヤ・ドゥイ・ロスティカ

博士(政治学)／准教授

東南アジア地域研究(インドネシア)

インドネシアの政治と政治文化を研究しています。特に女性の役割や女性像の政治的表象に注目しています。